

経済学部A方式Ⅱ日程・社会学部A方式Ⅱ日程
スポーツ健康学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～14	日 本 史	16～32
世 界 史	34～50	地 理	52～63
数 学	64～69		

〈注意事項〉

- 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
- 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
- 数学は以下の注意事項に従うこと。
 - 解答用紙の所定欄の受験学部を○で囲むこと。
 - 解答はおもて面と裏面の所定の位置に、上下の方向に気をつけて記入すること。
 - 解答を導く途中経過も書くこと。
 - その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - 定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
- マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

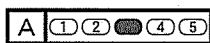
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

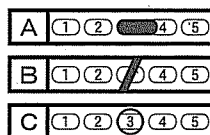
記入上の注意

- 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

- 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
- 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
- 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

- 問題冊子のページを切り離さないこと。

(地 理)

〔I〕 つぎの文章を読み、以下の問いに答えよ。解答はすべて解答用紙に記せ。

世界大の縮尺で表現される大陸、山脈、列島、海洋などを大地形という。大地形は主に内的営力によって長い年月をかけて形成される。世界には大きな大陸^①がいくつか存在するが、地表面に占める陸地の割合は %である。陸地は造山運動を受けた時期により、主に3つに分けられる。安定陸塊は 時代に造山運動を受け、その後は激しい運動を受けなかった大陸地殻で、楕状地や卓状地が代表的な地形である。楕状地にはハドソン湾を中心に北アメリカ大陸北東部に広がる世界最大の 楕状地や、ヨーロッパ北西部に広がる 楕状地などがあり、卓状地には東ヨーロッパ平原を中心とした 卓状地や、その以東の主に東経80度から120度に広がる 卓状地、 土が広がるデカン高原などがある。 土は、玄武岩が風化した肥沃な黒色土として知られる。古期造山帯は古生代中期から後期にかけて形成された褶曲山脈がみられる地域でアジアとヨーロッパの自然的境界をなす 山脈や、北アメリカ大陸東岸に位置する 山脈、アフリカ南部の 山脈、オーストラリア大陸東岸を南北に走る 山脈などが該当する。新期造山帯は中生代から新生代第三紀にかけて褶曲運動を受けた陸地で、アルプス=ヒマラヤ造山帯と 造山帯に大別される。新期造山帯は地震や火山の分布とほぼ一致しており、日本列島、ロッキー山脈、アンデス山脈なども新期造山帯に含まれる。なお、 造山帯に属する山のなかで、^②^③最高峰は 山(6959m)である。

問1 文中の空欄 にもっとも適した数値をつぎのア～エの中から選び、その記号を解答欄に記せ。

ア 20

イ 30

ウ 40

エ 50

問2 文中の空欄 (a) ～ (i) に当てはまるもっとも適切な語句を解答欄に記せ。ただし、同じ記号の空欄には同じ語句が入るものとする。

問3 文中の下線部①に関連して、つぎの表1は各大陸の高度を比率で示し、平均高度順に並べたものであり、表2は各大陸の気候分布をケッペン記号の比率で示したものである。表1のA～E、表2のF～Jは、ユーラシア大陸を除く、アフリカ、北アメリカ、南アメリカ、オーストラリア、南極のいずれかの大陸を表している。それぞれの表のうち各大陸に該当する記号を解答欄に記せ。

表1

高度(%)	A	B	C	D	E
200m以下	39.3	38.2	29.9	9.7	6.4
200～500	41.6	29.8	30.7	38.9	2.8
500～1000	16.9	19.2	12.0	28.2	5.0
1000～2000	2.2	5.6	16.6	19.5	22.0
2000～3000	0.0	2.2	9.1	2.7	37.6
3000～4000	0.0	2.8	1.7	1.0	26.2
4000～5000	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0
5000m以上	—	0.0	0.0	0.0	—
平均高度(m)	340	590	720	750	2200

表2

気候区	F	G	H	I	J
Af	26.9	19.8	7.9	2.8	—
Aw	36.5	18.8	9.0	2.4	—
BS	6.7	21.5	25.8	10.7	—
BW	7.3	25.2	31.4	3.7	—
Cw	6.7	13.1	6.8	2.0	—
Cs	0.3	1.3	7.9	0.8	—
Cf	14.0	0.3	11.2	10.7	—
Df	—	—	—	43.4	—
Dw	—	—	—	—	—
ET	1.6	—	—	17.3	3.6
EF	—	—	—	6.2	96.4

(注)いずれの表も傍線箇所—は存在しないことを示す。

地理

問4 文中の下線部②に関連して、アルプス＝ヒマラヤ造山帯を構成するつぎの a～d の山脈の記号を西から東の順に並べて解答欄に記せ。ただし、本初子午線から東経の範囲で、経度の大小を東西方向とする。

a エルブールズ山脈

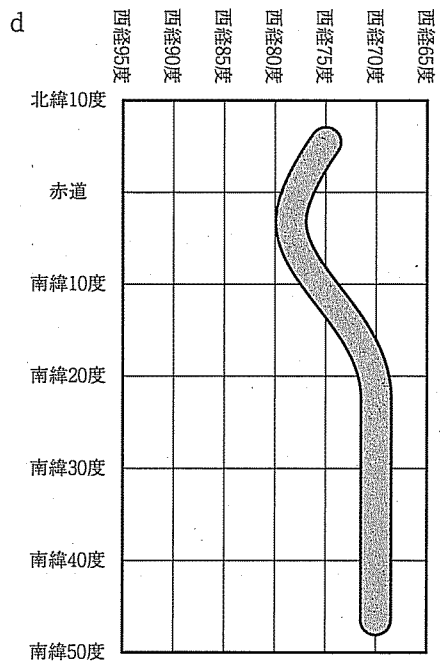
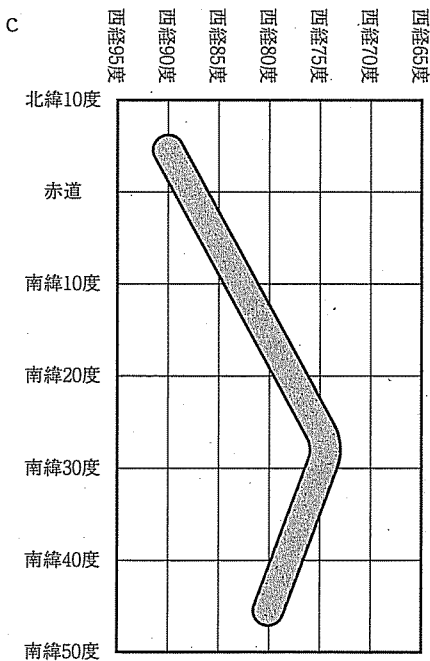
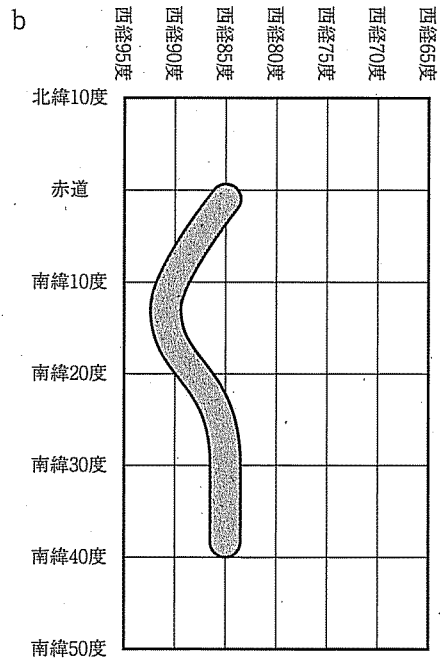
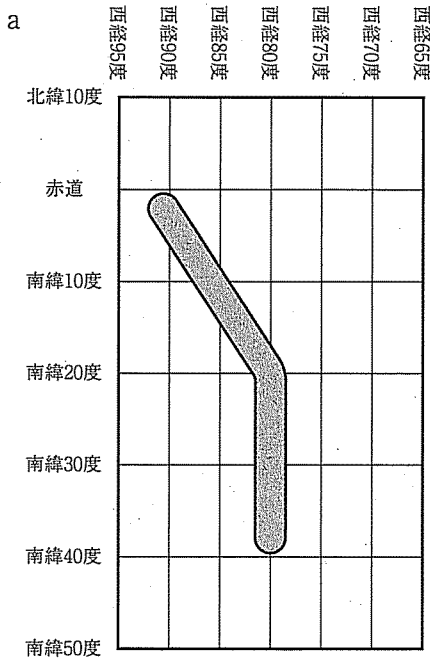
b カフカス山脈

c カラコルム山脈

d デイナルアルプス山脈

問5 文中の下線部③に関連して、アンデス山脈は世界最長の褶曲山脈である。

下の経緯度でグリッドされたつぎのa～dの図の中でアンデス山脈のおおよその位置を示した図を一つ選び、その記号を解答欄に記せ。



地理

〔Ⅱ〕 つぎの各国に関する文章を読み、以下の問いに答えよ。解答はすべて解答用紙に記せ。

- A この国は、経済成長が著しい のなかのひとつである。
 炭田をはじめ石炭が豊富にあり、石炭産出量は世界第2位である。また、米・小麦の生産量も世界第2位となっている。
- B この国は、1971年に の保護領から独立した。資源に恵まれ、その輸出によって1人あたりGDPは日本より高く、国民は教育と医療を無償で受けられる。資源の中でも、 の埋蔵量は世界第3位、輸出量は世界第2位となっている。
- C この国は、1973年に隣国 とともに、 に加盟した。この国の通貨はユーロだが、 の通貨はユーロではない。この国の主要産業は、金融、製薬、食料・飲料などである。
- D この国は、北東部にはこの国が属する大陸で最高峰の が、国境にはヴィクトリア湖、 湖などがある。コーヒー、綿花、サイザル麻などが主要農産物で、金やダイヤモンドなどの鉱物資源も豊かである。
- E この国は、面積は日本の約4割だが、人口は日本より多く、世界第8位である。国土の大半は、 川下流のデルタ地帯にあたり、洪水が頻発する。また、この国は1971年に、 から分離独立した。
- F この国では、2011年以降、反政府抗議活動が活発化し、内戦状態に陥った。さらに2014年には過激派組織、 が一方的に国家樹立を宣言するなど、混乱が拡大し、多くの難民がヨーロッパに流入している。

問1 文中の空欄 ～ それぞれに最も適する略称をつぎの a ～ i の中から選び、その記号を解答欄に記せ。

- | | | |
|------------|---------|--------|
| a ASEAN | b BRICS | c EC |
| d EEZ | e ISIL | f NIEs |
| g MERCOSUR | h PLO | i TPP |

問2 文中の空欄 ～ それぞれに最も適する語句をつぎの a ～ n の中から選び、その記号を解答欄に記せ。

- | | | |
|---------|------------|--------|
| a クズネツク | b スペリオル | c ダモダル |
| d チチカカ | e トランスヴァール | f ナセル |
| g フーシエン | h ヴォルタ | i マラウイ |
| j モウラ | k 石炭 | l 石油 |
| m 天然ガス | n 鉄鉱石 | |

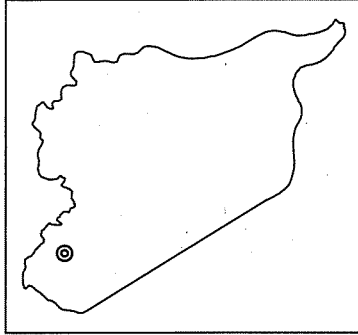
問3 文中の空欄 ～ それぞれに該当する地名を記せ。ただし、同じ記号の空欄には同じ地名が入るものとする。国名の場合は、正式名称でなくてもよい。

地理

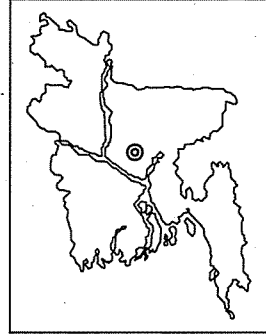
問4 A～Fの各国の国土を表した地図を、つぎの(あ)～(く)の中から選び、その記号を解答欄に記せ。



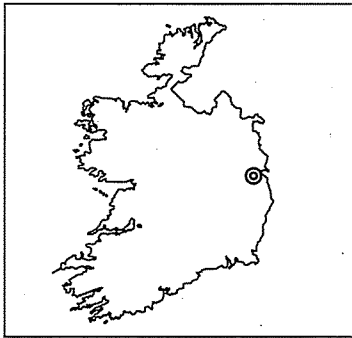
(あ)



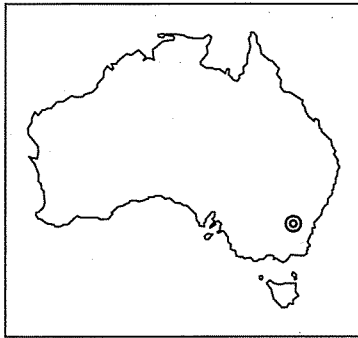
(い)



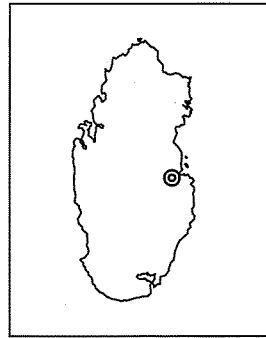
(う)



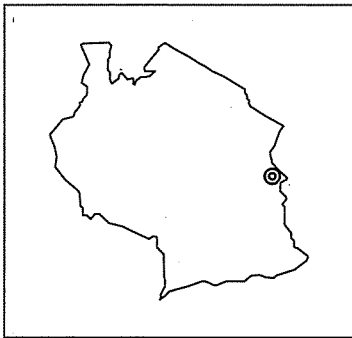
(え)



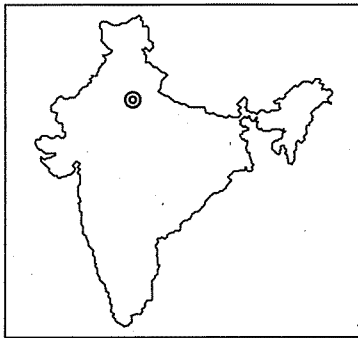
(お)



(か)



(き)



(く)

◎は首都の位置を示している。

問5 A～Fの各国の首都名を記せ。

問6 A～Fのうち、西半球にある国の記号を解答欄に記せ。

地理

〔Ⅲ〕 ニュージーランドに関するつぎの文章を読み、以下の問いに答えよ。解答はすべて解答用紙に記せ。

ニュージーランドは、オーストラリア大陸から [(1)] 海を隔て、南東方向約 [i] kmに位置する面積約27万平方km、人口約 [ii] 万人の島国である。英語とともに先住民の言語である [(2)] 語がこの国では公用語とされている。

この国の地形を特徴づけるのは南島ではサザンアルプスと氷河地形、北島では火山であり、またこの国は日本などと同様にしばしば地震に見舞われる。

南島では北東から南西方向へと脊梁山脈が走り、その中央部には [iii] m級の高峰が連なる。山脈の東側山麓にはカンタベリー平原がその南のオタゴ高原へとつながり、島の [iv] 部にはサウスランド平原が展開する。これに対して山脈の [v] 斜面は急傾斜地が海に迫っており、 [vi] 部には氷河地形に特徴的な [(3)] なども見られ、その一部は [(3)] ランドとして国立公園となっている。

北島の面積は日本の [あ] にほぼ匹敵する。島の中央部には火山性の湖沼群やカルデラ、温泉や噴泉も多く、北島での主要観光資源の一つとなっている。島の西部から [vii] 方向に約400kmにわたって突出している半島の中ほどにある [a] はこの国最大の商工業都市として知られる。北島の南端部、 [b] 海峡に面した首都 [c] は偏西風の影響で風が強く、「風の [c] 」とも呼ばれる。この国は [(4)] 気候帯に属することから気温の年較差が小さく、夏期は冷涼で冬期も緯度が高い割には比較的温暖である。

この国では山岳地帯が多いにもかかわらず国土の半分近くは農地として利用されている。ただ農地に占める耕地の割合は2%に過ぎず、大半の地域では牧畜や酪農を中心とした農業が営まれている。比較的降水量が多い北島では [(イ)] が、また偏西風の風下にあたり降水量の少ないサザンアルプス東麓一帯や北島の東岸部では主に [(ロ)] が飼育されている。なお、カンタベリー平原以南の沿岸一帯は [(ロ)] と [(ハ)] の混合農業地帯となっている。この国は貿易依存度が高い国として知られるが、輸出の6～7割は第一次産品が占めている。

総発電量の約半分は水力によって賄われているが、偏西風の風上にある関係で降水量が多い南島西部に水力発電の適地は多い。そのため南島で作られた電力は、主な需要地である北島へと 海峡の海底に敷設された海底送電線で送られている。また地熱発電が総発電量の約15%と地熱エネルギーの利用も進んでい^③る。

問1 文中の ～ に該当する数字または方位をつぎの a～pの中から選び、その記号を解答欄に記せ。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| a 350 | b 450 | c 550 |
| d 650 | e 1000 | f 2000 |
| g 3000 | h 4000 | i 東 |
| j 南東 | k 南 | l 南西 |
| m 西 | n 北西 | o 北 |
| p 北東 | | |

問2 文中の ～ に該当する語句を解答欄に記せ。ただし、同じ記号には同じ語句が入るものとする。

問3 文中の ～ に該当する地名あるいは都市名を解答欄に記せ。ただし、同じ記号には同じものが入るものとする。

問4 文中の ～ に該当する家畜あるいは作物名をつぎの a～gの中から選び、その記号を解答欄に記せ。ただし、同じ記号には同じものが入るものとする。

- | | | |
|---------|-----|------|
| a 牛 | b 豚 | c 鶏 |
| d 羊 | e 米 | f 小麦 |
| g ジャガイモ | | |

問11 ニュージーランドはグリニッジ標準時に対して+12時間の時差を持つ。東京から北島までの航空機の所要時間は約11時間である。日本の夏季休暇で同国を訪れた観光客を乗せた現地時間午前9時発の航空機は、その日の何時頃に成田空港に到着すると考えられるか。およその到着時間をつぎのa～fの中から選び、その記号を解答欄に記せ。

- | | | |
|-------|-------|-------|
| a 15時 | b 16時 | c 17時 |
| d 18時 | e 19時 | f 20時 |



